

健康に関する意思決定

経営情報学科

のぐち りこ
野口 理子

●連絡先

TEL : 054-264-5422

キーワード

健康行動, 意思決定, 行動変容



医療技術の発達により平均寿命が向上した現代において、人々がより健康的に生活できる期間である健康寿命とのギャップを小さくすることが求められています。特に、まだ病気を発症していない段階の人々について、生活習慣の管理や改善による健康の維持・促進は重要です。

身近に取り組むことのできる方法として、健診の受診による健康管理や、運動の習慣等が挙げられます。例えば、健診を受けることは、生活習慣の見直しが必要となる項目の確認など、健康管理上の目安を得ることに繋がります。受診率向上を目指すために、「未受診の人々はどのような問題に直面しているのか」を明らかにし、「どのような対策を講じると受診するのか」を検討することが必要です。このような背景の下で、個人の特性と健康に関する意思決定の関係性について研究を行っています。

➤ 健康に関する選択における個人の特性



➤ 働き方、家族とのかかわり方など、生活の中心となる要因との関係

